

ONESOURCE GLOBAL TRADE ソリューション

導入事例 – コマツブラジル有限会社



「輸入リードタイムを約30%短縮、通関業者関連コストの約90%を削減」

コマツのマネージャー Jeferson Biaggi氏は振り返る

企業概要

コマツグループ傘下のコマツブラジル有限会社 (Komatsu do Brasil Ltda)は、1975年に633,684m²におよぶ土地を敷地とし、初の海外現地生産拠点としてスザノ市(サンパウロ)に設立されました。

以降、ブラジル市場で確固とした地位を確立。長年にわたり同国の建設・開発の歴史において大きな役割を果たし、道路、鉄道、空港、発電所、石油化学コンビナートのほか、大規模なインフラ、農業・鉱業プロジェクトなどの重要事業に参画しています。

現在は、全世界に輸出される中型クローラートラクターの製造およびグローバル物流拠点として機能し、油圧ショベル、ホイールローダー、モーターグレーダーの製造も行っています。

同社グループが共有する「品質と信頼性」の哲学を貫くコマツブラジルは、優れたパフォーマンスと製品の高い品質が評価され、「社長優秀賞(President Excellence Award)」(コマツの社内表彰)を2回連続で受賞しています。

課題

国内外の幅広い顧客と取引を行うコマツブラジル有限会社(以下コマツ)では、RECOF制度(工業関連特別関税制度)に基づく承認を取得する必要がありました。RECOF制度は、この制度の規則が定める要件(特に、同制度の対象製品に関する説明責任)の遵守を求める一方、細やかな管理とコスト削減を目的とした輸出入プロセスの最適化を図るものです。従って、コマツでは、ブラジル連邦歳入庁が定める基準の遵守と生産性向上を同時に実現する包括的ソリューションを探する必要がありました。



導入の経緯

詳細な検討を行った結果、コマツは、南米で主要輸出入管理ソリューションであるONESOURCE GLOBAL TRADEを採用。自社の経験とトムソン・ロイターとのパートナーシップを活用することにしました。

このパートナーシップは、トムソン・ロイターが輸出入管理分野のソリューション提供を開始した2004年に締結。その後、パートナーシップを通じてRECOF Sysがコマツに導入されました。RECOF Sysは、RECOF制度(工業関連特別関税制度)に基づく輸出入製品管理のために開発された、ONESOURCE GLOBAL TRADEソリューションの一製品です。このシステムは、コマツと連邦歳入庁の双方のシステムから送信されるデータの読み取りを完全に自動で行います。

コマツの場合、RECOF制度で求められるすべての管理事項を実施し、必要な情報を連邦歳入庁に報告するために、RECOF Sysと社内システムとの完全統合が必要でした。

当初コマツは、RECOF制度の承認取得のみを目的としてトムソン・ロイターのソフトウェアを採用しましたが、承認取得後、同社の経営陣はここに好機を見つけます。社内ERPシステムと輸入管理システムを統合すれば、コストを削減できるのではと考えたのです。この2つのシステムを有効活用することで、コストと通関業者向けの作業労力を大幅に減らすことができたとコマツのマネージャー、Jeferson Biaggi氏は話します。

主なメリット

Jeferson Biaggi氏は、導入によるメリットを次のように話しています。

トムソン・ロイターと連携したソリューションの導入により、単なる法令遵守以上の効果がありました。トムソン・ロイターのONESOURCE GLOBAL TRADEソリューションにより、輸入リードタイムの大幅な短縮(全体で30%の時間短縮)と、通関業者関連コストの劇的削減を成功させました。その鍵となったのが、輸入管理システムとERPシステム、社内ウェブベースツールとの完全統合です。国際業務を行う顧客は、輸入管理システムと連動するKDBウェブサイトでインボイスをアップロードすることが可能です。最小限の手入力での輸入プロセス全体が自動化され、輸入申告書、国内用インボイス、連邦徴税票などの帳票をすべて作成することができるのです。

さらに、輸出管理ツールも社内ERPシステムと完全連動。受注書と国内用インボイスが発行されると、その情報が輸出管理システムに送信され、輸出登録書、輸出申告書、その他通関上必要な帳票が作成されます。

トムソン・ロイターの統合型輸出入管理ソリューションには、もう一つの重要なメリットがあります。ファイルの送受信ではなく、データベースへのアクセスによる社内システムとの統合を図ったことで、プロセスは完全自動化され、信頼性も確保されていることです。

コマツは、輸出入部品のリードタイム短縮と、輸出入の大幅なコスト削減、機動性の向上に成功しました。

「これこそが、我々がいつもトムソン・ロイター製品を強くお勧めする理由です。製品のベンチマーキングのために定期的に訪問していただいていることも、もう一つの理由ですね」とBiaggi氏は話します。

アジア太平洋
Eメール：
アジア：onesource.asia@thomsonreuters.com

電話：
オーストラリア：1800 074 333
中国：+86 10 59695100
インド：+91 11 6110 2120
韓国：+82 2 2076 8023
ニュージーランド：0800 785 483
シンガポール：+65 9829 62 70
その他アジア：+65 9829 62 70

日本：
〒107-6119
東京都港区赤坂5-2-20
赤坂パークビル 19F
Tel：03-4589-2314（部門直通）
Fax：03-4589-3240

